

## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 リーダー電子株式会社  
 コード番号 6867 URL <http://www.leader.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営情報室長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 北川 昇  
 (氏名) 新部 喜之

TEL 045-541-2121

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	1,838	12.9	△53	—	△32	—	64	—
26年3月期第3四半期	1,629	△5.4	△476	—	△450	—	△280	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 27百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 △267百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	16.62	—
26年3月期第3四半期	△67.34	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年3月期第3四半期	3,508	—	2,792	—	79.6	789.59
26年3月期	3,971	—	2,933	—	73.9	705.30

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 2,792百万円 26年3月期 2,933百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,570	3.0	10	—	24	—	116	—	30.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	4,191,801 株	26年3月期	4,191,801 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	655,619 株	26年3月期	31,870 株
----------	-----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	3,860,634 株	26年3月期3Q	4,160,642 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では住宅市場や雇用の改善が進むなど緩やかな景気の回復傾向が続き、また欧州においても、景気下振れのリスクを抱えつつも、全体的に景気持ち直しの動きが続いております。

中国を中心とした新興国におきましては、先進国経済の影響による輸出減や個人消費の低迷により成長率が鈍化しており、厳しい状況が続いております。

わが国経済におきましては、政府主導による経済政策を背景に、緩やかな景気の回復傾向が続いているものの、消費税増税や原材料価格の上昇などの影響による景気下振れも懸念されております。

このような経済環境の中、当社グループが関連する業界におきましては、民生機器をはじめとした電子機器のデジタル化の進展、地デジ対応需要の一巡などにより成熟化が進んでおります。また、企業の設備投資に対する姿勢は依然として慎重であることから、電波関連機器をはじめ、民生家電及びDVD・ブルーレイディスク関連などの生産設備で全般的に設備投資が縮小されました。しかしながら、4K映像フォーマット対応関連設備などを中心に、ビデオ関連機器が堅調に推移したことにより売上は増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,838百万円（前年同期比12.9%増）、経常損失32百万円（前年同期は450百万円の経常損失）となりました。

四半期純利益につきましては、投資有価証券の売却による売却益166百万円、生産合理化に伴う事業構造改善費用55百万円を計上した結果、四半期純利益は64百万円（前年同期は280百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績につきましては、当社グループの事業が電気計測器の開発と製造、販売を行う単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

これに代わる売上高の品目別内訳及び地域別内訳は次のとおりであります。

## &lt;品目別内訳&gt;

## ① ビデオ関連機器

国内では4K映像フォーマット対応関連設備など、海外では主力の放送関連設備が堅調に推移したことから、売上は増加いたしました。

この結果、売上高は1,574百万円（前年同期比39.0%増）となりました。

## ② 電波関連機器

テレビの電界強度測定器及びデジタル放送関連の生産設備で需要が停滞し、売上は減少いたしました。

この結果、売上高は108百万円（同44.2%減）となりました。

## ③ その他

DVD・ブルーレイディスク関連などの生産設備で全般的に設備投資が縮小され、売上は減少いたしました。

この結果、売上高は155百万円（同48.4%減）となりました。

## &lt;地域別内訳&gt;

## ① 日本

日本国内におきましては、政府主導による経済政策を背景に、緩やかな景気の回復傾向が続いているものの、消費税増税や原材料価格の上昇などの影響による景気下振れも懸念されております。

このような状況の中、当社グループが関連する業界におきましては、企業の設備投資に対する姿勢は依然として慎重であることから、電波関連機器をはじめ、民生家電などの生産設備で全般的に設備投資が縮小されたものの、4K映像フォーマット対応関連設備などで動きが見られ、売上は増加いたしました。

この結果、売上高は1,036百万円（同2.4%増）となりました。

## ② 北米・中南米

北米・中南米におきましては、主力の放送関連設備の需要が好調に推移し、売上は増加いたしました。

この結果、売上高は450百万円（同30.5%増）となりました。

## ③ アジア

アジアにおきましては、中国を中心に主力の放送関連設備の需要が好調に推移し、売上は増加いたしました。

この結果、売上高は289百万円（同26.2%増）となりました。

## ④ その他

欧州におきましては、全体的に景気持ち直しの動きが続いたことにより、主力の放送関連設備の需要が好調に推移し、売上は増加いたしました。

この結果、売上高は62百万円（同45.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ462百万円減少し、3,508百万円となりました。減少の主な要因は、現金及び預金が219百万円、投資有価証券が95百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ320百万円減少し、716百万円となりました。減少の主な要因は、退職給付に係る負債が83百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、2,792百万円となり、自己資本比率は5.7ポイント増加し、79.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の当社グループが関連する業界におきましては、国内では設備投資などの需要停滞により、厳しい環境が続くと思われまますが、放送分野につきましては、これまで見送られてきました設備の更新が見込まれます。

北米・中南米、アジアなどにおきましても、世界的なデジタルテレビ放送の普及による放送関連の設備で、新規需要を見込んではおりますが、全般的には厳しい状況が続くものと考えられます。

当社グループにおきましては、引き続き4K/8Kの超高精細画像、高速伝送機器など得意とするデジタル放送関連、映画産業関連をはじめ、カメラ画像評価関連などに対応する新製品の投入を軸に、国内外における営業力を強化して受注・売上の拡大をはかってまいります。

また、徹底した経費削減と原価低減に当社グループを挙げて取り組み、業績の回復を目指してまいります。

なお、平成26年10月27日に公表いたしました平成27年3月期(通期)の連結業績予想につきましては、変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,915,193	1,695,815
受取手形及び売掛金	652,248	563,185
商品及び製品	193,229	198,707
仕掛品	85,832	27,989
原材料及び貯蔵品	184,812	139,537
未収還付法人税等	691	197
その他	39,489	129,356
貸倒引当金	△647	△667
流動資産合計	3,070,850	2,754,120
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	544,894	530,221
土地	12,420	12,420
その他(純額)	38,765	31,494
有形固定資産合計	596,080	574,136
無形固定資産	69,720	55,758
投資その他の資産		
投資有価証券	151,165	55,741
生命保険積立金	67,862	53,783
その他	17,410	17,127
貸倒引当金	△1,971	△1,971
投資その他の資産合計	234,466	124,682
固定資産合計	900,268	754,577
資産合計	3,971,118	3,508,698

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	108,881	51,313
未払法人税等	25,850	6,102
賞与引当金	9,700	3,841
その他	234,983	102,396
流動負債合計	379,414	163,654
固定負債		
繰延税金負債	27,378	6,044
退職給付に係る負債	614,311	531,217
その他	16,032	15,646
固定負債合計	657,722	552,907
負債合計	1,037,136	716,562
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,163,233	1,163,233
資本剰余金	1,272,297	1,272,297
利益剰余金	657,044	721,216
自己株式	△33,392	△202,416
株主資本合計	3,059,183	2,954,330
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,405	9,805
為替換算調整勘定	△176,606	△171,999
その他の包括利益累計額合計	△125,201	△162,194
純資産合計	2,933,981	2,792,135
負債純資産合計	3,971,118	3,508,698

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	1,629,107	1,838,517
売上原価	969,179	988,778
売上総利益	659,927	849,739
販売費及び一般管理費	1,136,351	902,864
営業損失(△)	△476,423	△53,124
営業外収益		
受取利息	292	547
受取配当金	5,915	3,982
受取家賃	3,501	—
為替差益	6,433	10,876
助成金収入	9,461	4,251
貸倒引当金戻入額	38	2
その他	4,318	2,960
営業外収益合計	29,961	22,621
営業外費用		
支払利息	897	—
売上割引	437	826
保険解約損	2,789	1,196
その他	145	286
営業外費用合計	4,270	2,308
経常損失(△)	△450,732	△32,812
特別利益		
固定資産売却益	401,293	2,460
投資有価証券売却益	20,857	166,993
特別利益合計	422,150	169,453
特別損失		
固定資産売却損	33,700	—
固定資産除却損	2,476	1,734
減損損失	101,613	—
事業構造改善費用	105,499	55,939
特別損失合計	243,289	57,673
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△271,872	78,967
法人税、住民税及び事業税	8,294	14,796
法人税等合計	8,294	14,796
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△280,166	64,171
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△280,166	64,171



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△280,166	64,171
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,751	△41,600
為替換算調整勘定	28,105	4,607
その他の包括利益合計	12,353	△36,992
四半期包括利益	△267,812	27,178
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△267,812	27,178
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

当社グループの事業は電気計測器の開発と製造、販売を行う単一のセグメントであるため、記載を省略しております。